



# 若浦だより

舞鶴市立若浦中学校 学校だより

平成29年12月1日 第9号

<http://wakaura.maizuru.ed.jp>



## 実りを感じた11月

木の葉が舞い散り、行く秋が惜しまれる季節となってきました。保護者・地域の皆様には、御健勝にてお過ごしのことと推察いたします。

11月17日（金）に、舞鶴市教育委員会指定研究実践校としての研究発表会を開催しました。

本校が教育の柱として位置付けている「共に学び合える学校」、とりわけ本校が長年にわたり研究を積み上げてきた「協同的な学び」について、1年生の数学の授業を研究授業として、多くの先生方に参観していただきました。



授業内容は、「比例と反比例」の単元で、『ある電気店が洗濯機を販売するための広告作成にあたって、経費と使用期間の経年差をより効果的に表すグラフを考える』という課題で展開しました。グループの中で考察を進める中で出て来る、つぶやきや思考の糸口を全体に返し、そこから生まれてくる新たな発想をつなぎ合わせながら課題解決に迫るといふ、本校が目指す学び合いのある授業を参観していただきました。

身近な生活に即した課題とは言え、様々な視点からのアプローチが考えられる問題に対して、生徒達は活発に自分の考えを出し合い、あたかも仲間と共に考え合うことを楽しんでいるかのような姿に、本校が目指す学び合いのある授業が浸透してきた感を抱く時間でした。このような生徒の学びの姿を目にすることは、教師としての喜びであり、より良い授業づくりへのエネルギーが沸き起こります。

今回の研究発表会を一つの節目として、生徒と教師ともに更なる学びの追及に努めていきたいと考えています。

先日、東京にお住まいの女性の方から、本校にお手紙をいただきました。その方は、満州から引き揚げて来られた方で、11月4日に引揚げ後初めて、娘さんと共に舞鶴を訪れられ、引揚記念館へ行かれたそうです。その日は、ちょうど本校の3年生徒3人が引揚の語り部として活動している日であったため、「実は私は引揚者なんですよ。」と、声を掛けてくださり、生徒達は驚きと共に、「話を聞かせてください。」と応じ、最後は記念写真を撮り、今後の文通の約束までして別れたとのこと、生徒達の活動に大変感心されお手紙をいただいたようです。以下、お手紙の抜粋から

「三人の聡明で、純真で、何より素直な生徒さんにお会いできたことは、今回の旅の良い思い出となり、心の財産となりました。伝承者という根気のいる難しい活動に、前向きに取り組む姿は誇らしいとも思えました。第二次世界大戦が忘れかけられている昨今、体験者も年々減少しています。日本が平和であり続けるためにも、このような取組は素晴らしい活動だと思います。この地に課せられた大切な役目でもあるように思えました。とにかく現代の子は、飽きっぽく辛いことは避けて通るような風潮ではありますが、この地では無縁なようで、頑張ってもらいたいし期待もしています。」という、大変嬉しい内容でした。このお便りを励みに、本校と引揚記念館とのつながりを一層深めていきたいと思っております。

校長 宮川 啓三

教職員一同

## <表彰>

『わたしの町のたからもの』絵画(舞鶴ユネスコ協会)  
市長賞(最高賞) 森田 翔太 1年  
舞鶴ライオンズクラブ賞  
吉田 佳子 1年  
優秀賞 扇野 まどか 1年  
優秀賞 片山 優里奈 1年  
『ロボットコンテスト』  
京都府大会 第2位 山本 翔那汰 3年  
(全日本小中学生ロボット選手権出場 12/17和歌山)

## <英語スピーチコンテスト>11月11日(土)

Congratulations! 全員入賞!

「3年生の部」(僕の夢) 優勝 林 蒼太  
「2年生の部」(大好きなもの) 3位 西野 せり  
「1年生の部」(自己紹介) 3位 椿 拓翔  
舞鶴市内の全中学校から、各学年の代表(21人)が集まり「自分の思いや考え」を英語でスピーチしました。発音・流暢さ・内容等で審査が行われ、見事3人とも入賞しました。



## <夢講演会>11月9日(木)

演題 『夢を目標に』

～オリンピックチャレンジを振り返って～

講師 齋藤 里香(北京五輪ウエイトリフティング日本代表選手)  
自分の生き方を見つめ直す機会になればと、毎年



「夢講演会」を行っています。世界大会で外国の選手から「オリンピック」でまた会おうねと言われ、本気でオリンピック出場を目指した生き様等のお話を聞くことができました。「努力しても夢がかなうとは限らない」しかし『努力しないと夢がかなえるチャンスすら訪れない』という言葉が生徒の心に響いていました。

## <人権標語の取組>

1学期全校で、『人権』について考えるため、人権標語を作りました。舞鶴市人権啓発推進室に提出をし、その審査結果が届きました。

「広げよう 優しい心と みんなの笑顔」(特選)

3年 石澤 凜香

## 事務室からの「お知らせ」

JRの学生割引の申請

- ・ 担任の先生に申請用紙をもらう。
- ・ 必要事項を記入し、必要とする3日前には学校へ提出すること。

## 12月の行事予定



- 1日(金) 期末考査 給食と部活あり
- 2日(土) 登校日・授業参観(9:00-12:30)  
PTA バザー(11:00-13:00)
- 6日(水) 箒の学習(全学年) 講師:立道明美様  
1年たばこ学習・2年アルコール学習  
休部日
- 7日(木) 3年エイズ学習
- 8日(金) 2年ストレスマネジメント学習
- 11日(月)~14日(木) 三者面談(3年給食なし)
- 14日(木) トレーニング講習会(海洋高校来校)
- 15日(金) 休部日
- 19日(火) 2年人権学習(車いすバスケ)
- 20日(水) 休部日
- 22日(金) 終業式(下校完了 12:15)
- 29日(金)~1月3日(水) 年末年始の休日
- 1月9日(火) 始業式(下校完了 12:15)



## <舞鶴市教育委員会指定研究発表会>

11月17日(金)

研究のテーマを「共に学び合える学校づくり」として、発表会を行いました。生徒のアンケート結果を紹介いたします。

『授業はよく分かる。』

肯定的回答 48.1%(H27)⇒84.4%(H29)

『先生はいろいろ工夫した授業をしている。』

肯定的回答 53.2%(H27)⇒91.4%(H29)

『授業で分からないことがあったら、どうしますか。』

学校で解決する。 56.1%(H27)⇒74.5%(H29)

そのままにしておく。 14.0%(H27)⇒6.4%(H29)

この良好な結果に慢心することなく、生徒一人一人が充実感を感じ、「明日も通いたくなる学校」そして、保護者にとって「明日も通わせたい学校」づくりを目指してまいります。

## <3年生命のがん教育>11月7日(火)

お医者さんからは、【がんという病気について・中学生からの睡眠や食事・生活習慣の大切さ・タバコのリスク・検診で早期発見することの重要性】などを教えていただきました。

【感想から】

・ 今日(火)の授業で、100%がんにならない方法はないけど、少しでも予防するためには、日常生活を変えていくことが大切だと分かった。



## <1年2年 PUSH プロジェクト>11月2日(木)

舞鶴東消防署の方に来ていただきました。PUSH法による胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの実習をして、「自分が救える命は、救いたい」という気持ちを新たにしました。

【感想から】

・ 「あなたしか救えない命がある。」という言葉に心がグサツときた。  
・ 僕の家(住居)の周りには高齢者が多く、地域にAEDがあるかも知れないし、救急車が来るまで10分以上はかかる所なので、今日教わったことを覚えておいて、命を救えるようにしたい。

